

- 問1 平安時代後期に藤原氏の栄華の象徴として平等院鳳凰堂を建立した、当時の政治の実権を握っていた人物は誰？
- 問2 空海が唐で学んだ密教を日本に広めるために金剛峯寺を建立した際、唐へ渡った制度を何という？
- 問3 天台宗において、あらゆる人が救われるという教えの中心となっている経典を何という？
- 問4 平安時代初期に、唐から真言宗を持ち帰り、金剛峯寺を建立した僧は誰？
- 問5 平安時代末期に厳島神社の社殿を整備した武士は誰？
- 問6 遣唐使の停止を建議した後、政争に巻き込まれて左遷された先はどこ？
- 問7 平安時代の貴族文化において、仏教の教えを絵画や工芸品などを用いて表現したものを何という？
- 問8 平安時代後期に貴族の間で流行した、死後に阿弥陀如来の助けを借りて極楽浄土へ生まれ変わることを願う考え方を何という？
- 問9 平安時代、地方の政治が乱れる大きな原因の一つとなった制度の廃止を何という？
- 問10 国風文化のなかで、漢字を簡略化して作られた文字を何という？
- 問11 摂関政治の全盛期に「望月の歌」を詠み、栄華を極めた人物は誰？
- 問12 平泉の奥州藤原氏が、極楽浄土を表現するために建立した金箔の仏堂を何という？
- 問13 平安時代に日本独自の文化が発展したきっかけとなった、遣唐使が停止された時期はいつ？
- 問14 平安時代に遣唐使の廃止などを背景に栄えた、日本の風土に合わせた独自の文化を何という？
- 問15 国風文化の発展を支えた、漢字を簡略化して作られた文字を何という？
- 問16 平安時代中期に、貴族社会を題材とした長編物語『源氏物語』を執筆した女性作家は誰？
- 問17 平安時代初期、朝廷の支配が及びにくかった日本の北東部地域を何という？
- 問18 比叡山で修行を積み、後に鎌倉時代に新しい宗派を広めた指導者たちの総称を何という？
- 問19 国司が中央政府から認められた、現地の税を集める権利を何という？
- 問20 平安時代初期、地方政治の立て直しを図り、国司への監督を強化した天皇は誰？
- 問21 平安時代初期に、唐で密教を学んで帰国し、高野山を拠点として真言宗を開いた僧は誰？
- 問22 1086年に天皇の位を譲った後、上皇として御所外から政治の実権を握った人物は誰？